

Mランドささ山校 ニュース Vol. 29

平成21年8月1日発行 篠山自動車教習所 兵庫県篠山市池上569 TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940
発行責任者 豊田文雄 HP <http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com



ご指導頂きました佐藤先生（右）と小河社長

■ MSYワークスの佐藤芳直先生に社員を対象に講話ををお願いしました。

この数年社会的、経済的、政治的にどうにもならない危機的な状況にあるが、「危機は理想を現実化するためにやつてくる」どうにもならないということは変わらぬしかないということである。それは個人においても同じこと。誰かのために情熱を燃やし、喜んで大変なことをする。それは人間の本質のことであり、Mランドが目指すべきものである。そのためには、問題点を発見し、発信、解決できる人の集団でなければならない。気づく集団である。自分たちの未来に当たろう。（講話要点文責・豊田）

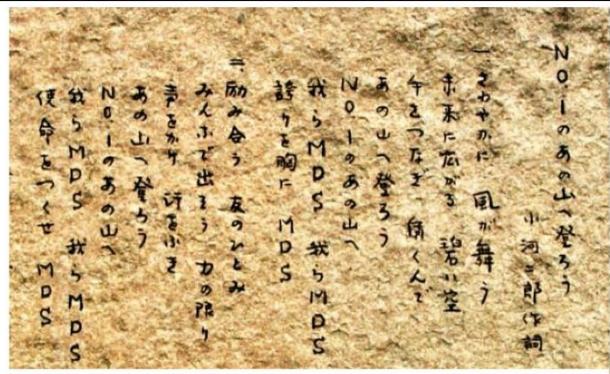
冬は名物ボタン鍋が篠山での一押しグルメですが、夏は地物の夏野菜をおいしく食べてもらいうヘルシーコースを検討していたところ、市内に摘み菜をフレンチで楽しむてくれるシェフがいることを聞き付け、お願いして今回の企画となりました。

メニューは自家栽培の米、野菜に野の草花を肉、魚のソースやサラダにアレンジしたこだわりのコースで、自然の恵みをゆっくりと満喫していただきました。

この日ゲストは仮免試験に合格したとあって、気分も上々、記念のディナーとなりました。



シェフと一緒に。青木さん（左）萩原さん



大きな石に刻まれたナンバーワンの詩

■ 六月三十日から七月一日にかけて開催されたMランド益田校主催の「100kmチャレンジウォーク」に参加させていただきました。

■ Mランドでは七月一日をナンバーワンの日と制定し、二十年近くにわたりこの日に富士登山研修を行なってきました。「ナンバーワンのあの山へ登ろう」と目標を高く掲げ挑戦し、達成のための気概を養うこと目的としてきましたが、近年日本の最高峰である富士山も団体登山ツアーのコースに入れられるほどで、少し様子が変わってしまったことから、新たにこの「100kmチャレンジウォーク」が企画されました。

峰では、すでに日は暮れ、あたりには街灯もなく真っ暗で、ヘッドライトの明かりだけが頼りでした。土砂降りの雨、激しい腰の痛み、足を引きずりながらやつら簡単にあきらめてしまう自分がいるのですが、もう少し、あと一步の思いが体をここまで運んできただよに思います。

目標半ばではありましたが、これが身体の限界と思いつつ、やを決め、私の今回の挑戦は見え無く終わりとなりました。もちろん何とかならなかつたのだろうかと悔しい思いがありますが、



ただひたすら歩きます

篠山から参加の谷口(左)と後藤

今回のチャレンジウォークを通じて心について学びました。それは、「自分の心」「みんなの心」、人とのつながりや何をするにも心ひとつで決まるということです。一生の内でもなかなか体験できない貴重な機会に参加させていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

（谷口 健）

希望色の未来を
創造しよう

美味「摘み菜フレンチ」
を楽しむ

『100kmチャレンジウォーク』
に参加して

同時に気付かされたことがあります。それはサポーターの方々の存在に「一人はみんなのために、みんなは一人のために」というこ

とを実感したことです。夜道の安全確保のための伴走や食事の準備等、私たちが歩くことだけに専念できるように配慮され、サポートーもチャレンジしている人の痛み、苦しみそして喜びも、

ながら順調なすべり出しでした。が、降り出した雨に足元が悪くなり、次第に体力も奪われ、一歩前へ足を出すのが徐々につらくなってしまいました。ただスタッフのみなさんが温かい声援と各チェックポイントでのサポートのおかげで疲れきった体でも次の一步を踏み出すことができました。

二輪チーム新リーダー



二輪リーダー
後藤 茂

Mランド「コンスタンツェ」の 設計に携わって ⑤

建築家 才本謙二

あると認識したように思
ます。

そんな中歴史文化が色
濃く残り、自然が豊かな篠
山の環境は人情もあり人
を含め、まさに日本の原風
景といえます。数日間、好
きに身を置く皆さんに
頑張つてまいります。

当面の課題は大型自動

二輪の指定取得です。この
目標必達を掲げ、メンバー
と共に目的意識をもつて行
動し、報告・連絡・相談を
しっかりと行ない、協力してチ
ームの向上に努めます。

私が特に力を入れて取
り組みたいことは、受験生
に対するメンタル面のサポ
ートを重視することです。
より良い環境の中で最大
限の力を發揮していただく
ための言葉の選び方。積極
的・肯定的な言葉でプラス
思考に変えるための表現力
を勉強中です。

すばらしい成果とともに
成長する私たちにどうぞご
指導ご鞭撻をよろしくお
願いします。

てピカピカに磨かれた透明
な車窓を通してみている
人々と風景は、よく見えて
いるようでも見えないか
もしれません。分かっている
ようで分らないのが、自分
であつて社会かもしれない
山の環境は人情もあり人
を含め、まさに日本の原風
景といえます。数日間、好
きに身を置く皆さんに
頑張つてまいります。

設計に係わったご縁でニュ
ースに連載すること五回、
今回で最後を迎えました。

各地からお越しの皆さんに
「コンスタンツェ」の逸話とち
ょっと違った視点で篠山のご
紹介が出来たかと思います。
最後にまとめとして、我々
地元にいるものとMランドさ
けとして、篠山の良さを知
る仕組みを作らないといけ
ないと思っています。知ること
即ち自己を見つめ直し、
未来を見据え、社会の一員
として認識することです。

そこで具体的な提案ですが、
もう既にMランド内で実施
されている素晴らしい文化
活動や奉仕活動のエリアを
拡大し、地域に出ることを
提案します。京文化の影響
を受けた煌びやかな祭礼や
各所で開催される昔ながら
の行事に触れることが、郷土
史家や伝統技能・芸能伝承
者を招いてレクチャーを受
けることは一地方の歴史を
知るだけでなく、日本の文
化を検証することになります。
車についても同様です。乗
車定員三十人以上、最
大積載量六・五トン、車両總
重量十一トン以上のいわゆ
る営業用、プロのクラスの免
許が大型自動車にあたり
ますが、一般によく見かけ
ますが、一般的によく見かけ
ます。マイクロバスや貨物自動車
は中型免許でOKです。

方向性と課題について記載
したいと思います。

戦後の日本は、高度な技
術によって経済発展するこ
とが社会を豊かさにすると
唱えられて、行く先は幸せ
な世界が待っていると信じ
ました。その結果、実はわざ
かな利便性を確保しただ
けで、大事な日本のアイデ
ンティティを犠牲にしてし
まつたことによく気がつ
きました。今後を課せられ
た我々は、歴史文化と風土
に基づいた中長期のビジョン
を描き、社会人としての立
ち位置つまり役割を理解
し務めることが最も重要で

目的別に免許取得 中型自動車

中型自動車

編集後記

■人は「どうせうなら」と思
うことがあります。せっかく

の機会だからと奮発したり
調整したりして、いかにも
合理的なように思えて実は
ムダ・ムリをしていることが
多いものです。

例えば、免許取得の際、
今の時代の主流はAT車で
す。トラックに乗ったり、M
T車でなきやどこだわりが
なければAT車限定免許で
十分です。（費用や時間、
難易度も軽減でき、必要な
ら限定解除も可能です）

大型自動車・中型自動
車についても同様です。乗
車定員三十人以上、最
大積載量六・五トン、車両總
重量十一トン以上のいわゆ
る営業用、プロのクラスの免
許が大型自動車にあたり
ますが、一般によく見かけ
ますが、一般的によく見かけ
ます。マイクロバスや貨物自動車
は中型免許でOKです。

■ 今月はお盆を迎えます。

日頃の不孝を詫び、この時
くらいは神妙な面持ちで先
祖に手を合わせ、両親に感
謝の意を精一杯表わそ
うと思います。

「恩」という漢字は「因」と
「心」からできています。因
は種とか素の意。つまり原
因を知る心を恩と言うのだ
と思います。

今こうして生きていられ
るのは様々な人やもののお
かげですが、先祖があつての
自分、最も身近な自分の根
本は父母です。親の愛は無
償の愛。恩を返すなどと簡
単に言えるものではありません
せんが、近頃話題の「親愛
なる子どもたちへ」という詩
に、「…どうかそのままの
私のことを理解して欲し
い…」とあります。このメッ
セージのように、しっかりと向
き合いたいと思います。（文）

編集後記

編集後記



写真 神谷氏



目的別
に判断す
ることを
おすすめ
します。



お地蔵さま(丹波焼)